

南丹市職員人権研修実施状況報告書

所 属		研 修 内 容				
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
市 長 公 室	企 画 財 政 課	実施日時	令和4年6月29日(水) 17:30～18:30	令和4年10月12日(水) 17:30～18:30	令和4年11月16日(水) 17:30～18:30	令和5年3月15日(水) 17:30～18:15
		テーマ・実施方法	「インターネットと人権」のDVD視聴と意見交換	「コール&レスポンスーハラスメント」のDVD視聴と意見交換	わからないから、確かめ合うコミュニケーションDVD視聴と意見交換	「家庭からふりかえる人権話せてよかった」のDVD視聴と意見交換
		出席率	参加者 6人/6人 (100%)	参加者 6人/6人 (100%)	参加者 4人/6人 (67%)	参加者 4人/6人 (67%)
		所属長所感	匿名性を悪用しSNS等を使った差別的な発言などインターネット上で起こる人権侵害について理解を深められた。	今回は3つのハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ)について理解を深められた。ハラスメントは様々な場面で、加害者・被害者になってしまう可能性があると感じました。	思い込みや偏見から人を傷つけてしまうことがあるということを改めて気づけた。	自分の思いを伝え、お互いのよさや違いを認め合うことができる社会を築くことが必要である。今後も継続して研修などを重ね人権意識を高めていきたい。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
市 長 公 室	秘 書 広 報 課	実施日時	令和4年6月29日(水) 17:30～18:30	令和4年10月12日(水) 17:30～18:30	令和4年11月16日(水) 17:30～18:30	令和5年3月15日(水) 17:30～18:15
		テーマ・実施方法	「インターネットと人権」のDVD視聴と意見交換	「コール&レスポンスーハラスメント」のDVD視聴と意見交換	わからないから、確かめ合うコミュニケーションDVD視聴と意見交換	「家庭からふりかえる人権話せてよかった」のDVD視聴と意見交換
		出席率	参加者 5人/5人 (100%)	参加者 5人/5人 (100%)	参加者 5人/5人 (100%)	参加者 5人/5人 (100%)
		所属長所感	思い込み、優越感、心のゆとりのなさがSNSなどへの誹謗中傷行為につながっていると感じた。	様々なハラスメントを通して、上司と部下の気付きや職場におけるコミュニケーションの重要性について考えることができた。	思い込みは危険で常に相手の気持ちになって話し合うこと、確かめ合うことが大切だと再認識した。	夫婦間や親しい相手にも偏見をなくし人として向き合い話し合うことの大切さを再認識した。また、参加者一人一人から意見聞き研修を通して人権意識の向上が図れていることを実感した。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
総 務 部	総 務 課	実施日時	令和4年8月9日(水) 17:30～18:00	令和4年10月25日(火) 17:30～18:00	令和4年12月15日(木) 17:30～18:00	令和5年2月9日(木) 17:45～18:15
		テーマ・実施方法	コロナ差別についてのDVDを視聴し、各自研鑽を深める	多様性についてのDVDを視聴し、各自研鑽を深める	同和問題についてのDVDを視聴し、各自研鑽を深める	多様な社会・職場環境の人権の気づきについてのDVDを視聴し、各自研鑽を深める
		出席率	参加者 6人/7人 (86%)	参加者 8人/9人 (89%)	参加者 6人/8人 (75%)	参加者 8人/9人 (89%)
		所属長所感	今回のDVDはコロナ差別についてであったが、何事も当事者意識を持って考えることの必要性和誰にでも起こりえることであり、見えにくいものであっても怖がりすぎず正しく理解して行動することの重要性を再認識できた。	「普通」というのは、人によって違うものであり、一人一人が尊重し合い、それぞれを生かし合うコミュニケーションの大切さを再認識できた。	同和問題は身近な問題であり、インターネット上の偽情報に惑わされずに、正しい知識を深め、差別をしない、させないように取り組まなければならないと再認識した。	日ごろの自分自身の何気ない言動や行動が、差別やハラスメントにつながる可能性を感じ、改めて人権感覚を高めることと、人を思いやる気持ちの大切さを再認識できた。

令和4年度南丹市職員人権研修全体テーマ・・・「多様性の尊重と平和」
～さまざまな違いを超えた共生社会の実現へ～

南丹市職員人権研修実施状況報告書

所 属		研 修 内 容				
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
総務部	人 事	実施日時	令和4年8月9日(火) 17:30～18:00	令和4年10月25日(火) 17:30～18:10	令和4年12月15日(木) 17:30～18:30	令和5年2月9日(木) 17:30～18:00
		テーマ・実施方法	DVD「私たち一人ひとりが できること～当事者意識を もって考えるコロナ差別 ～」視聴	DVD「多様性入門」視聴	「今そこにいる人と、しっ かり出会う-同和問題-」 のDVD視聴	DVD「小さな歩みを見つけよう 職場の人権 気づきポ イント集」視聴
		出席率	参加者 5人/6人 (83%)	参加者 5人/6人 (83%)	参加者 6人/6人 (100%)	参加者6人/6人 (100%)
	課	所属長 所感	相手を思いやること、相手の 立場に立って物事を見、考 え、正しい情報を冷静に受け 止め、周囲に流されないこと の大切さを改めて認識した。	外国人、障害者、高齢者な ど、一人ひとり違う価値観や 個性があり、「普通」はそれ ぞれに違う。その違いを認め 合い、生かすことの大切 さを改めて認識した。	市職員として差別事象に遭遇 した際に、毅然とした態度で 対応できるようマニュアル等 を確認する必要性を共有す ることができた。	日常の何気ない会話の中にも ある「差別発言」に周りが気 づき、「それはおかしい」と 声をあげること。そして自ら を振り返り、ひとりひとりが 当事者意識を持つことが大切 と改めて感じた。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
総務部	税 務	実施日時	令和4年8月9日(火) 17:30～18:30 ほか	令和4年10月25日(火) 17:30～18:30 ほか	令和4年12月15日(木) 17:30～18:30 ほか	令和5年2月9日(木) 17:45～18:30
		テーマ・実施方法	「私たち一人ひとりがで きること～当事者意識をも って考えるコロナ差別～」 のDVD視聴と意見交換	「多様性入門」のDVD視聴 と意見交換	「今そこにいる人と、しっ かり出会う-同和問題-」 のDVD視聴と意見交換	小さな歩みを見つけよう 「お互いを活かし合うた めの人権シリーズ⑥」のDVD 視聴と意見交換
		出席率	参加者 12人/12人 (100%)	参加者11人/12人 (91.7%)	参加者9人/12人 (75.0%)	参加者9人/11人 (81.8%)
	課	所属長 所感	コロナ差別のような不安感が 差別を引き起こすケースで は、相手の気持ちに寄り添 い、慮り、思いやりの気持ち を伝えることが大切であると 再認識できた。	少数意見に目を向けることの 大切さを再認識するととも に、コミュニケーションや他 人を尊重する気持ちを持つ ことが、良好な職場環境に繋 がると感じた。	差別解消に向け学習・研修に よる正しい知識の習得と再認 識の必要性を改めて強く感じ た。	相手の立場に立った配慮を忘 れてはならないと改めて感じ た。職場環境と住民対応にお いて見つけ直す良い機会と なった。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
総務部	監 理	実施日時	令和4年8月9日(水) 17:30～18:00	令和4年10月25日(火) 17:30～18:10	令和4年12月15日(木) 17:30～18:00	令和5年2月9日(木) 17:45～18:15
		テーマ・実施方法	DVD「私たち一人ひとりが できること～当事者意識を もって考えるコロナ差別 ～」を鑑賞、コロナ差別を 学習した。	DVD「多様性入門」を鑑賞 し、多様性の尊重について 学習した。	DVD「今そこにいる人と、 しっかり出会う」を鑑賞 し、同和問題について学習 した。	小さな歩みを見つけよう 「お互いを活かし合うた めの人権シリーズ⑥」のDVD 視聴と意見交換
		出席率	参加者 4人/4人 (100.0%)	参加者 2人/4人 (50.0%)	参加者 2人/4人 (50.0%)	参加者 2人/4人 (50.0%)
	課	所属長 所感	現在は、解消されつつあるもの の、今に根強い新型コロナウイルス 感染症について、発生当初に見 られた感染者への誹謗中傷。特定の職 業への不当な差別、偏見がどうして 生まれるのかを学び、自分自身で しっかり判断することの大切さを再 認識した。	多様性を尊重し、ひとりひとり違 う価値感を認め、共生していく社会 を実現していくということは、本当 に難しい課題であり、まだまだ今後 も学習していかなくてはならない大 きな問題であることを再認識した。	同和問題に触れるきっかけが描かれ ていた。少し深掘りが出来ていなく て、初めて学ぶ人には難しかったか も知れませんが、生まれた土地とい う何気ないことも気をつかわなくて はいけないということは、おかし いことはよく伝わった作品だ った。	職場でのよくある風景での短編もの の啓発ビデオの鑑賞を行った。そう いう視点も必要なのかという気づき もあったが、正直、そこまで気を回 すのは難しいのではないかと 思いうる点で有意義であった。

令和4年度南丹市職員人権研修全体テーマ・・・「多様性の尊重と平和」
～さまざまな違いを超えた共生社会の実現へ～

南丹市職員人権研修実施状況報告書

所 属		研 修 内 容				
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
総務部	危機管理課	実施日時	令和4年8月9日(火) 17:30～18:30	令和4年10月25日(火) 17:30～18:30	令和4年12月15日(木) 17:30～18:30	令和5年2月9日(木) 17:45～18:15
		テーマ・実施方法	「私たち一人ひとりができること～当事者意識をもって考えるコロナ差別～」のDVD視聴と意見交換	「多様性入門」のDVD視聴と意見交換	「今そこにいる人と、しっかり出会う～同和問題～」のDVD視聴と意見交換	小さな歩みを見つけよう「お互いを活かし合うための人権シリーズ⑥」のDVD視聴と意見交換
		出席率	参加者 4人/5人 (80%)	参加者 4人/5人 (80%)	参加者 4人/5人 (80%)	参加者 5人/6人 (80%)
		所属長所感	コロナ差別の現状や私たち一人ひとりが配慮すべきこと、当事者意識をもっておくことの大切さを再認識することができた。	一人一人の価値観は異なり多様性がある。それぞれがお互いを尊重し、コミュニケーションをとることが大切であることを確認できた。	同和問題などの差別事象に遭遇した時にしっかりと対処できるように常々研鑽を深めておくことが大切だと振り返ることができた。	職場でのありがちな場面の再現ドラマから、人権問題となりうる場面が多々あることに気付いて、今後の職場環境の改善に有意義であった。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
総務部	八木支所総務課	実施日時	令和4年6月24日(金) 17:30～18:30	令和4年9月3日(土) 13:30～15:00	令和4年11月24日(木) 17:30～18:30	令和5年2月19日(日) 13:30～15:30 令和5年3月7日(火) 18:30～19:30
		テーマ・実施方法	南丹市の人権問題事象への対応について	「令和4年度南丹市人権講演会」	「LGBTQ+ 認め合う社会に求められる窓口対応とは」	令和4年度 人権研修会 映画「破戒」鑑賞及び意見交換
		出席率	参加者 7人/7人 (100%) 他会計年度職員 4人	参加者 6人/7人 (85%)	参加者 6人/7人 (85%)	参加者 6人/7人 (85%) 他会計年度職員1名
		所属長所感	差別事象を確認し合い、処理に関する要領を研鑽。南丹市条例に基づき、職員として振る舞いや、対処について理解を深めた。	不特定多数の中で子育てする人間は、役割があることで、幸せを感じることができる。「助けて」と言えることは進化した人間だからこそ発せる言葉であることに納得。	窓口で意識するようになったこと、性別不要と思う社会の仕組みや制度、支障等、自由に意見を出し合い、思い込みを排することの重要性を確認。	被差別部落出身の青年が、父親からの戒めを破り、自分自身を認めて生きる人生を再出発する姿を通して、全国水平社創立100周年の節目に、人権闘争を深め読むことかできた。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
総務部	日吉支所総務課	実施日時	令和4年7月27日(水) 17:20～18:00	令和4年9月3日(土) 13:30～15:00	令和4年11月18日(金) 18:30～20:30	令和5年2月26日(日) 13:30～15:00
		テーマ・実施方法	人権問題事象に対する対応について、南丹市人権問題事象の処理に関する要領に基づき、過去の事象を検証	南丹市人権講演会「助けてと言えるまち ～ひとりにしないという支援～」に参加(視聴)し、個々の感想文をまとめて共有した。	2022なんたんヒューマンシネマ「朝が来る」を観覧し、個々の感想文をまとめて共有した。	興風交流センター主催の人権講演会「このまちが好きだから ～被差別部落の歴史をもつ地域に生まれて～」に参加。
		出席率	参加者 7人/8人 (88%)	参加者 5人/6人 (83%)	参加者 6人/6人 (100%)	参加者 3人/6人 (50%)
		所属長所感	差別事象に直面した時に、市職員として適切な対応ができるよう要領を再確認し、対応について課内で共有できた。	本当の自立の意味や、「助けて」と言えることの大切さ、そしてその環境づくりの重要性学んだ。	現代における多様化した家族形態の中で、「家族の絆」についてそれぞれ再確認することができた。	被差別の歴史をもつ地域に生まれた体験談や、人権学習を始めたきっかけなどを聞き、人権学習とは自分が自分らしく、人が人らしく幸せになるための学習であることを学んだ。

令和4年度南丹市職員人権研修全体テーマ・・・「多様性の尊重と平和」
～さまざまな違いを超えた共生社会の実現へ～

南丹市職員人権研修実施状況報告書

所 属		研 修 内 容				
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
総務部	美山支所総務課	実施日時	令和4年9月8日(木) 17:30～18:30	令和5年1月19日(木) 17:30～18:30	令和5年2月9日(木) 17:30～18:30	令和5年3月13日(月) 17:30～18:30
		テーマ・実施方法	コロナ差別について DVD【私たち一人ひとりが できること】を鑑賞した。	DVD【多様性入門】を鑑賞 し、意見交換を行った	日常生活や職場での会話の 中で、知らず知らずのうちに 刷り込まれている不適切な 用語を、資料を基に確認 し、話し合った。	小さな歩みを見つけよう 「お互いを活かし合うため の人権シリーズ⑥」のDVD 視聴と意見交換
		出席率	参加者 15人/16人 (93.75%)	参加者 16人/16人 (100.00%)	参加者 13人/16人 (81.25%)	参加者 14人/16人 (87.50%)
		所属長所感	現在ではいつ、だれが感染し てもおかしくない状況となっ てきているが、感染者や濃厚 接触者に対し差別や偏見を無 くし接していかなければなら ないことが学べた。	一人一人がそれぞれ多様な人 間であり、それぞれを活かし 合うコミュニケーションが大 切であると認識できた。	今まで普通にしゃべっている 会話の中にも、実は不適切な 用語が多々含まれている。な ぜこの言葉が不適切なのかと いうものなど皆で話し合うこ とで理解が深まった。	相手と会話する中で、一言何 かをプラスすることで相手と の印象や理解が違ってくるこ となどに気付かされた。今後 の対応にも活かされると感じ た。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
地域振興部	情報課	実施日時	令和4年5月25日(水) 17:30～18:30	令和4年8月23日(水) 17:30～18:30	令和4年11月21日(月) 17:30～18:30	令和5年1月10日(火) 17:30～18:30
		テーマ・実施方法	改めて差別を考える・DVD 視聴と意見交換	「南丹市人権を尊重し多様 性を認めあうまちづくり条 例」について・講話	多様性について考える・ DVD視聴と意見交換	更生保護及び保護司の役割 について・YouTubeの視聴 と意見交換
		出席率	参加者 5人/5人 (100%)	参加者 4人/5人 (80%)	参加者 5人/5人 (100%)	参加者 5人/5人 (100%)
		所属長所感	全ての人が人権問題に気づき 正しく理解すること。正しい 情報入手することの大切さを 再確認した。	南丹市人権条例策定に至った 背景や概要について改めて確 認した。	多様性について、全ての個人 が個性を持ち、それぞれの違 いをお互いに認め、生かし合 うことの大切さを再確認し た。	更生保護の取組や保護司の役 割を、リーフレットやYouTube の視聴を通じて理解すること ができた。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
地域振興部	地域振興課	実施日時	令和4年5月25日(水) 17:30～18:30	令和4年8月23日(火) 17:30～18:30	令和4年11月21日(月) 17:30～18:30	令和5年1月10日(火) 17:30～18:30
		テーマ・実施方法	改めて差別を考える・DVD 視聴と意見交換	「南丹市人権を尊重し多様 性を認めあうまちづくり条 例」「南丹市人権問題事象 の処理に関する要領」につ いて	(職場の人権)多様性入 門・DVD視聴と意見交換	更生保護(保護司)につい て YouTube視聴と意見交換
		出席率	参加者 10人/10人 (100%)	参加者 7人/10人 (70%)	参加者 7人/10人 (70%)	参加者 7人/10人 (70%)
		所属長所感	発する言葉の意味、影響を考 え、しっかり理解する力を養 うことの必要性、重要性を再 認識することができた。	南丹市人権条例の策定に至っ た背景や概要について確認で きた。	それぞれの違いを認め、尊重 し合うことで、お互いがより 活かされることを認識するこ とができた。	あまり知られていない更生保 護の取組や保護司の役割を、 リーフレット・スライドや YouTubeで視聴し、知ることが できた。

令和4年度南丹市職員人権研修全体テーマ・・・「多様性の尊重と平和」
～さまざまな違いを超えた共生社会の実現へ～

南丹市職員人権研修実施状況報告書

所 属		研 修 内 容				
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
地域振興部	市	実施日時	令和4年5月25日(水) 17:30～18:30	令和4年8月23日(火) 17:30～18:30	令和4年11月30日(水) 17:20～18:20	令和5年1月10日(火) 17:30～18:30
	民	テーマ・実施方法	改めて差別を考える・DVD視聴と意見交換	「南丹市人権を尊重し多様性を認めあうまちづくり条例」「南丹市人権問題事象の処理に関する要領」について	ハラスメントについて(YouTube、スライドの視聴と意見交換)	更生保護(保護司)について YouTubeの視聴と意見交換
	協働	出席率	参加者 3人/3人 (100%)	参加者 3人/3人 (100%)	参加者 3人/3人 (100%)	参加者 3人/3人 (100%)
	室	所属長所感	DVD視聴やファシリテーターのお話を通じて、情報化社会の人権・同和問題をはじめ多様性の尊重について学ぶ機会となった。	令和4年1月に施行された市人権条例の策定背景や、条例がめざす共生社会の実現について理解することができた。	セクハラ・マタハラ・パワハラについて、スライドやYouTubeを視聴後、3人で話し合うことができた。	更生保護の取組や保護司の役割を、リーフレット・スライドやYouTubeで視聴し、理解することができた。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
市民部	市	実施日時	令和4年8月25日(木) ①9:30～②14:15～③15:30～	令和5年1月5日(木)～2月10日(金)インターネット動画配信による個別視聴	令和5年1月5日(木)～2月10日(金)インターネット動画配信による個別視聴	令和5年2月15日(水) 17:45～18:45
	民	テーマ・実施方法	DVD「風の匂い」を視聴し、感想文をまとめて課内で共有した。	南丹市職員全休人権研修「外国人～違いを認め共に生きる～」及び「私たちが伝えたい大切なこと」を視聴し、個々の感想文をまとめて共有した。	南丹市職員全休人権研修「外国人～違いを認め共に生きる～」及び「私たちが伝えたい大切なこと」を視聴し、個々の感想文をまとめて共有した。	「鳥取ループ・示現舎」について(市民部全休人権研修)
	課	出席率	参加者18人/22人(82%) 感想文提出14人/14人(100%)	参加者12人/12人(100%)	参加者12人/12人(100%)	参加者9人/12人(75%)
	課	所属長所感	障がいの有無に関わらず、一人ひとりの個性、特性を認められるよう、相手の気持ちに寄り添う、心を込める大切さについて、認識することができた。	二つのテーマについて、動画視聴し、それぞれ相互に感想文を共有することにより、一人ひとりの思いを確認することができた。	二つのテーマについて、動画視聴し、それぞれ相互に感想文を共有することにより、一人ひとりの思いを確認することができた。	インターネット上で差別助長や誘発を意図した悪質な行為を行っている事象について、また、当市で起こった事象等について市民部長より講義を受けた後に意見交換をして、対応について再確認することができた。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
市民部	環	実施日時	令和4年10月6日(木) 17:15～18:15	令和4年10月28日(金) 17:15～18:15	令和5年2月15日(水) 17:45～18:45	令和5年3月27日(月) 17:15～18:15
	境	テーマ・実施方法	誰もがその人らしく — LG B T — 気づいて一歩ふみだすための人権シリーズ④ DVD視聴と意見交換	「増え続ける高齢者の問題」「子育てする女性の問題」「パワーハラスメントやセクシャルハラスメントの問題」「同和問題」	「鳥取ループ・示現舎」とは? (市民部職員人権研修)	インターネットと人権
	課	出席率	参加者 4人/4人 (100%)	参加者 3人/4人 (75%)	参加者 4人/4人 (100%)	参加者 3人/4人 (75%)
	課	所属長所感	LGBTBの人権を守る対応が直ぐに実行できるよう普段の心掛けが必要であると感じた。	だれもが地域と職場で、自分の持っている能力や個性を発揮し、生きがいを持って働ける環境づくりが大切である。	被告は、インターネット上で、部落地名総覧の複製版を販売計画したが、横浜地裁は出版禁止の仮処分を下した。この訴えをした部落解放同盟を敵視しているようである。しかし、本人の考えや行動は一般常識上、許されないことであると考ええる。	インターネット上での書き込みについては、安易な考えで書き込みをするなど人権侵害になることもあるので、責任を持って活用していかなければならない。

令和4年度南丹市職員人権研修全体テーマ・・・「多様性の尊重と平和」
～さまざまな違いを超えた共生社会の実現へ～

南丹市職員人権研修実施状況報告書

所 属		研 修 内 容				
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
市 民 部	人	実施日時	令和4年8月4日(木) 18:15～19:15	令和5年2月8日(水) 17:20～18:30	令和5年2月15日(水) 17:45～18:50	令和5年3月7日(火) 17:30～18:15
	権 政	テーマ・実施方法	人権啓発DVD「家庭からふりかえる人権一話してよかったー」を視聴し意見交流(社会教育課との合同研修)	ETVドキュメンタリー番組「わけありリンゴ」を視聴し、意見交換	「鳥取ループ・示現舎」について(市民部全体人権研修)	人権啓発DVD「夕焼け」を視聴し意見交流
	策	出席率	参加者 6人/8人(部長含む) (75%)	参加者 7人/8人(部長含む) (88%)	参加者 6人/8人(部長含む) (75%)	参加者 8人/8人(部長含む) (100%)
	課	所属長所感	自分の中にある思い込みに気づき、自己尊重の人間関係を築くためのコミュニケーションの大切さやひとそれぞれ価値観の違いを認めあい、お互いが思いやりをもって接することの重要性を改めて考え直す良い機会となった。	ハンセン病により子どもを産むことが許されなかった女性とその養女として迎えた他人同士が、ハンセン病患者の平さと向き合いながらも、家族の絆を深めていく、割れたり、変色した「訳あり」でも食べれば素晴らしい味のするリンゴ、見た目や生い立ちで判断することが大切であるということに気づかされた。	eb上で全国の同和地区を晒す動画を掲載するなど、人権を侵害する様々な行動を起こしている「鳥取ループ」なる人物について、その行為や関係団体における対応、また当市で起こった事象等について市民部長より講義を受け意見交換を行った。有事における対応を再確認することができた。	成長するための大事な時期に、家庭の事情から介護や家事に追われるヤングケアラーという存在について認識を新たにすることができた。身近なテーマであり、大人が気づき、人と人がつながり、支えあうこと、「地域コミュニティ」の大切さを痛感した。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
福 祉 保 健 部	福	実施日時	令和4年6月 ～令和4年8月	令和4年10月26日(水) 17:45～19:15	令和5年2月24日 ～令和5年3月10日	令和5年3月11日 ～令和5年3月24日
	祉	テーマ・実施方法	「ひきこもり」を考える 「ひきこもり人権宣言」を題材に意見交換	ひきこもりという暮らしを知る	身近に考えるジェンダー問題	成年後見制度について 動画を見て、制度に関する理解を深め、日常生活にどのように活かすか考える
	相	出席率	7名/7名(100%)	6名/7名(85%)	7名/7名(100%)	5名/7名(71%)
	課	所属長所感	課の業務(相談支援や地域福祉)の中でも重要な課題となっている「ひきこもり状態の方々」について理解を深める一助になった。	グループワークにより「ひきこもり」に対するイメージや自分が当事者になった場合を共有し、ディスカッションした。自分事として考える機会となった。	ジェンダー問題について、自分自身のこととして考え、アンケート集計結果により他の人の考えも知る機会になった。	課の業務(権利擁護支援、相談支援)に役立つ成年後見制度について理解を深める機会となった。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
福 祉 保 健 部	社	実施日時	令和4年10月12日(水) 17:45～18:45	令和4年10月26日(水) 17:45～19:15	令和5年2月24日(金)～3月10日(金)	令和5年3月23日(木) 17:45～18:45
	会	テーマ・実施方法	DVD『わからないから確かめ合うコミュニケーション』を視聴した後、今年度発生した差別事象3件について、内容確認と意見交換	「ひきこもりという暮らしを知る」をテーマに、YouTube動画視聴と、グループワークを実施	「ジェンダー平等をかんがえよう」をテーマにoYouTube動画「身近に考えるジェンダー問題」を各自視聴、アンケートに回答	DVD『小さな歩みを見つけよう～職場の人権気づきポイント集～』を視聴し、グループで意見交換
	福	出席率	参加者 10人/14人 (71%)	参加者 9人/14人 (64%)	参加者 14人/14人 (100%)	参加者 13人/14人 (93%)
	課	所属長所感	日常での様々な人権問題を改めて考えることができた。また、市内で発生した差別事象について検証し、対応方法について再確認した。	ひきこもりの当事者意識を持ち、「ひきこもり」の暮らしの理解を深めた。	ジェンダー平等に向けた意識改革がさらに深められた。	言葉の使い方の重要さや、相手の意思を確認し行動に移すなど、日々の業務の中で研修内容を活かせる実感した。

令和4年度南丹市職員人権研修全体テーマ・・・「多様性の尊重と平和」
～さまざまな違いを超えた共生社会の実現へ～

南丹市職員人権研修実施状況報告書

所 属		研 修 内 容				
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
福祉保健部	高齢福祉課	実施日時	令和4年7月5日（火） 17：30～18：30	令和4年10月26日（水） 17：45～19：15	令和5年2月14日（火） 17：30～18：30	令和5年2月24日（金）～3月10日（金）
		テーマ・実施方法	LGBT問題を正しく認識する。DVD『誰もがその人らしく』を視聴した後、課内で意見交換を行った。	「ひきこもりという暮らしを知る」をテーマに動画視聴とグループワークを実施	DVD『夕焼け ケアラ～誰もが人権尊重される社会を』を視聴し、意見交換を実施	「ジェンダー平等をかんがえよう」をテーマにYouTube動画「身近に考えるジェンダー問題」を各自視聴、アンケートに回答
		出席率	参加者 10人/10人 (100%)	参加者 10人/10人 (100%)	参加者 10人/10人 (100%)	参加者 10人/10人 (100%)
		所属長所感	LGBTの人たちは身近な存在であり、固定概念による曹段の言動が知らないうちにその人々を傷つけていることを学習した。	ひきこもりに対するイメージに対し実態を知ること、当事者に対する対応や必要とする支援について認識することができた。	ヤングケアラーの存在を認識することで、高齢者、障害者、子育て世帯等複合的支援の在り方について共有した。	男女の家事、育児の負担割合が女性の方が他国より突出している原因は、男性の長時間労働が起因しているとの指摘があり、男性職員の意識改革につながったと思う。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
福祉保健部	子育て支援課	実施日時	令和4年9月15日（水） 17：45～18：30	令和4年10月26日（水） 17：45～19：15 (福祉保健部合同実施)	令和5年2月24日（金）～3月10日（金） (福祉保健部合同実施)	令和5年3月22日（水） 17：45～18：30
		テーマ・実施方法	テーマ：人権の歴史を学ぶDVD視聴「水平社を立ち上げた人々-人間は尊敬すべきものだ-」と意見交換	テーマ：「ひきこもりという暮らしを知る」動画視聴とグループワーク	「ジェンダー平等をかんがえよう」をテーマにYouTube動画「身近に考えるジェンダー問題」を各自視聴、アンケートに回答	テーマ：「多様性について理解を深める」動画視聴（多様性入門）と意見交換
		出席率	参加者 12人/12人 (100%) ※部長含まず、再認任用職員含む	参加者 6人/12人 (50%) ※部長含まず、再認任用職員含む	参加者 10人/12人 (83%)	参加者 12人/12人 (100%) ※部長含まず、再認任用職員含む
		所属長所感	全国水平社創設100周年を機に、あらためてその成り立ちを学び、差別の苦悩に立ち上がった人々の思いを感じ取れ、差別を無くす意識を共有できる機会となった	当事者意識を持ち、ひきこもりの暮らしを理解した支援の必要性を学んだ。	ジェンダーギャップ等について再認識することができた。	一人一人がそれぞれ多様な人間であり、それぞれを活かすこと、そのためのコミュニケーションの大切さ等を学んだ。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
福祉保健部	保健医療課	実施日時	令和4年6月30日（木）	令和4年10月26日（水） 17：45～19：15 (福祉保健部合同実施)	令和5年1月26日（木）	令和5年3月10日（金）
		テーマ・実施方法	「職場からつくる人権尊重社会」事前アンケートにもとづくワークショップ	テーマ：「ひきこもりという暮らしを知る」動画視聴とグループワーク	「職場からつくる人権尊重社会」、動画視聴とワークショップ	身近に考えるジェンダー問題 オンライン研修
		出席率	14/15 (93%)	14人/17人 (88%)	14/16 (88%)	参加者 16人/16人 (100%)
		所属長所感	職場での心理的安全性の大切さを学び、人権尊重が生産性の向上にも寄与することを再認識した。	当事者意識を持ち、ひきこもりの暮らしを理解した支援の必要性を学んだ。	職場での心理的安全性についての理解を深め、多様性の中で人権を尊重するチームングの手法について学習した。	ジェンダーギャップ等について再認識することができた。

令和4年度南丹市職員人権研修全体テーマ…「多様性の尊重と平和」
～さまざまな違いを超えた共生社会の実現へ～

南丹市職員人権研修実施状況報告書

所 属		研 修 内 容				
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
福祉保健部	地域医療室	実施日時	令和4年6月16日(木) 17:30～18:30	令和4年10月26日(木) 17:45～19:00	令和4年11月11日(金) 17:30～19:00	令和5年3月10日(金)
		テーマ・実施方法	ふるさと納税に係る問合せ の中での差別事象について 対応マニュアルの確認	ひきこもりについて グループワーク 動画視聴	障がい者・高齢者虐待防止 の基本的な考え方について オンライン研修	身近に考えるジェンダー問 題 オンライン研修
		出席率	参加者 4人/4人 (100%)	参加者 4人/4人 (100%)	参加者 3人/4人 (75%)	参加者 4人/4人 (100%)
		所属長 所感	差別事象が発生した場合にお ける対応について再確認した	いつでもどこでもなりうる可能性 があるとともに相手に対して の寛容性を持つことが大切と 感じた	障がい者・高齢者虐待につい て改めて認識することができ た	ジェンダーギャップ等につい て再認識することができた。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
福祉保健部	園部保育所	実施日時	6月～7月 13:30～15:00	令和4年8月10日(水) 8月18日(木) 8月19日(金) 13:00～15:00	令和4年11月3日(木) 13:00-16:00	令和4年11月19日(土) 11月20日(日)
		テーマ・実施方法	「子どもの実態を知る」 家庭訪問、個別懇談会を行 い、一人一人の課題、実態 について得たことを、各担 任が加配会議、保育検討会 等で報告をし、情報共有を する。	「子どもを尊重する保 育」・保育の中の子ども の人権について、職員間で話 し合い、意識を高める。 ・セルフチェックリストを もとに、自らの保育を振り 返し、今後の実践に生かせ	「京都府人権・人権開放 保育研究集会」 京都府人権・人権開放保育 研究集会に参加し、その 後、職員間で共有する。	「木崎町文化祭」 ・木崎町の文化祭に参加 し、地域との交流を深め る。
		出席率	26名中26名 100%	40名中40名 100%	11人中9名 82%	8名中8名 100%
		所属長 所感	新年度となり、クラスや担任が 替わり、子どもの実態を知ると 共に、個々に応じたかわりに ついて話し合い、共通理解す ることができた。一人ひとりを大 切にした保育を心がけていくこ とを職員間で再確認することが できた。	初めての試みだったが、個人 が自分を振り返り、小グルー プで報告し合うことで、保育 で大切にしなければならない ことを共有しあえた。	現地参加で、実践報告を聞く とリモートでは感じることに できない苦労や悩みが伝わり、 京都の保育所が抱える問 題点や人権を真ん中においた 保育実践の在り方を考えるこ とができた。	地域の行事に参加し、地域を 知ることと併せて保育所のこ とを地域に広く知ってもら い、連携のベースを作ること ができた。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
福祉保健部	城南南保所	実施日時	令和4年6月20日(水) 13:30～15:00	令和4年 10月3日(月) 10月14日(金) 10月24日(月) 13:30～14:30	令和4年11月3日(木) 13:00～16:00	令和5年 1月17日(火) 1月18日(水) 1月19日(木) 13:30～14:00
		テーマ・実施方法	保育の中で一人一人を支え るために 子どもの実態についての交 流と話し合い	「子ども・若者の人権」を 考える 啓発教材視聴後グループ討 議	人権保育 京都府人権・解放保育研究 集会参加	共生社会の実現に向けて 「人権擁護のためのセルフ チェックリスト」による自 己点検とグループ討議
		出席率	参加者 10人/10人 (100%)	参加者 36人/38人 (94%)	参加者 7人/7人 (100%)	参加者44人/44人(100%) グループ討議参加者31人 /38人(81%)
		所属長 所感	実態に寄り添い背景を受け止 めながら、集団にこだわらず 一人ひとりを尊重することの 大切さが共通理解できた。	限られた環境の中で起こる問 題については、当事者が声を上 げるためには繋がりが大切だと 感じた。	直接保育に携わる保育所だけ でなく、市の人権啓発推進課 の実践発表があり、改めて地 域で子どもの育ちや人権意識 を育みたいと感じた。	セルフチェックを通して、1 年間の関わりを振り返る機会 になった。また、グループで テーマについてそれぞれの捉 え方を話し合い、子どもの最 善の利益に通じる関わりを確 認することができた。

令和4年度南丹市職員人権研修全体テーマ…「多様性の尊重と平和」
～さまざまな違いを超えた共生社会の実現へ～

南丹市職員人権研修実施状況報告書

所 属		研 修 内 容				
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
福祉保健部	八木中央幼児学園	実施日時	令和4年6月7日（火）	令和4年8月19日（金）	8月22日～24日、26日 （4日間に分けて実施）	令和4年12月23日（金） ①13:20～ ②14:00～
		テーマ・実施方法	子どもの実態に基づき、人権的な視点から姿やかかわりについて職員間で共有する。	南丹船井人権教育研究会に参加する。	DVD（imajination）を視聴しグループで意見交流を行う。	共通の資料をもとに、子どもの人権を意識した保育についてグループで意見交流を行う。
		出席率	3/3 (100%)	11/11 (100%)	34/36 (94%)	36/37 (97%)
		所属長所感	子どもの人権を守るということは一人一人を尊重することであり、日々の保育実践レポートから大切にすべきことを共有することができた。	保幼小中と他校種の取組を交流することで、成長と共に起こる問題に対して大切にすべきことを確かめ合うことが出来た。	様々な人権問題をテーマにグループで互いの考えを伝え合うことができた。この対話の時間が相手を理解し合う一歩につながると感じた。	世間で起きた事件を受け、「不適切な保育」について話し合った。子どもの人権を守るために何を大切に保育するべきか、意識共有することができた。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
福祉保健部	八木東部幼児学園	実施日時	令和4年9月5日（月）～ 16日（金）	令和4年11月3日（月）～ 11日（金）	令和4年12月6日（火）	令和5年2月18日（土）
		テーマ・実施方法	DVD「気づきから行動へ」～DVD V を視聴し、DVD V を見て学んだことを書面でまとめたものの共有する。	京都府人権・解放保育研究会参加 （当日参加及び動画視聴）	「地域に学ぶ」 八木支部女性部の方と八木東 幼児学園職員との交流会	南丹市八木町東部青少年育成会主催の 人権研修に参加する 「水平社会を目指した村づくり」 友永 健三 氏
		出席率	参加者 19人/20人 （95%）	参加者 4人/4人 （75%） 正規職員	参加者 4人/4人 （100%） 正規職員	参加者 3人/4人 （100%） 正規職員
		所属長所感	今回のビデオは、4つのテーマになっているが、一人一人の人権を大切に生活している上での、気づきや行動に繋がっている事柄が示唆されている内容だった。無知、無関心は、差別を助長している可能性がある。人が人として大切にされる権利や人権が守られる社会づくりを便利な時代だからこそ、考えていかなければならない。などが職員間で共有できた。	対面式で開催ができ、会場や動画で実践発表を聞くことができた。宇治市や舞鶴の発表では、地元をよきを通しての発表をされ、地域の方々との協働で取りくまれている発表を聞いて、つながりの大切さを感じた。コロナをめぐる情勢と課題の発表では、実践されているウイズコロナの保育に共感できたり、新たな気づきもあった。職員全体で共有していきたい。	女性部との交流では、今年度も取り組んでいる『地域道徳』の話の中で、『散歩は、社会との繋がりが持てる機会になっている。』ことや、保護者会の取組について話をした。保護者会の活動の活動について実践されてきた貴重な話を聞くことができた。一生懸命お話をいただいたことを職員一人一人がしっかりと受け止めて、実践に生かしていきたい。	講師の友永先生から、「水平社会宣言」の原点として、人間は尊敬すべきもの・誇るべきもの・すべての人が光輝く社会の構築を目指すことと3つのポイントの話を最初にされた。その後解放運動の流れや政策、部落差別解消推進法についてや住吉地区での取組についても、丁寧に話しいただいた。冒頭に話をされた、「水平社会宣言」の原点の3つのポイントをしっかりと受け止めて、保育や自分自身の生き方に生かしていきたいと思った。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
福祉保健部	日吉中央保育園	実施日時	令和4年5月2日（月） 13:30～14:30	令和4年5月13日（金） 9:30～14:30	令和4年9月5日（月）～ 8日（木） 13:30～14:30	令和5年1月10日（火）～ 13日（金） 13:30～15:00
		テーマ・実施方法	『子どもの実態について』 職員間での情報共有	講師に勝山結夢氏を迎え、 『子どもの自己肯定感を育むための環境構成や援助について』学ぶ	『ベティの色鉛筆』動画 視聴後、グループワークをする。	『子どもを尊重する保育』 について人権擁護のための セルフチェックリストを用 いてグループワークをする。 各グループのまとめを 回覧する。
		出席率	参加者 7人/7人 （100%）	参加者 14人/19人 （73%）	参加者 19人/19人 （100%）	参加者19人/19人 （100%）
		所属長所感	一人一人に寄り添う保育をすることが子どもの人権を大切にすることであり、自己肯定感や自尊感情を育むことにつながることの共通理解する。	子どもも職員も居心地の良い環境づくりが一人一人を大切にすることということが職員間で共有することができた。	様々な人とかかわる中で多様性を認め、その人の良さに気付くと良好な関係を築いていけることを職員間で確認することができた。	セルフチェックをすることで、自分自身の傾向を知り、子どもと関わり方で悩みを出し合う中で職員間で適切な援助について確認し合えた。

令和4年度南丹市職員人権研修全体テーマ・・・「多様性の尊重と平和」
～さまざまな違いを超えた共生社会の実現へ～

南丹市職員人権研修実施状況報告書

所 属		研 修 内 容				
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
福祉保健部	子育て支援課	実施日時	令和4年6月2日（火） 14:00～15:00	9月12日（月）～15日（金） 13:00～17:00	11月3日（木） 13:00～16:00	令和5年2月9日（木） 2月20日（月）～28日（火）
		テーマ・実施方法	家庭訪問や保健師連携などで確認した、個別支援や各家庭の状況などを職員間で連携する。	子どもの人権について勝山氏のオンライン研修を受け、感想を提出する。	京都府人権解放保育研究集会に参加（現地・オンライン）	不適切保育について
		出席率	参加者7人/7人 （100%） （所長・補佐・主担任参加）	参加者 20人/20人 （100%）	参加者3人/3人 （100%） 正規職員	参加者19人/19人 100% （正規職員・会計年度任用職員）
		所属長所感	子どもの実態と把握し、一人ひとりに必要な関わり方や保育の仕方について確認し、職員間で共有することができた。	子どもの権利条約の内容を確認し、日ごろの保育の中で子どもだから…とついしてしまっている行為が子どもの人権を侵害していることに気づくことができた。	保育所側からの実践報告だけでなく、行政や地協からの報告もあり、子どもを取り巻く人権について、行政も地域も一体となって取り組む事の大切さを知ることができた。	普段子どもに接する時に、声何気なくかけている声のかけ方や、話している内容などが実は大きな人権侵害であり、不適切保育であることに気づかされた。「そこにいるのは子どもではない。一人の人間」という言葉の重みを感じた。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
福祉保健部	子育て支援課	実施日時	令和4年 5月30日（月） 13:00～15:00	令和4年 6月14日（火） 14:00～15:00	令和4年 9月12日（月）～20日（火）	令和5年 1月17日（火）～20日（金）
		テーマ・実施方法	子どもの人権を守る保育について、講師から学び、クラスで話し合う。	子どもや保護者についての（多様性の）理解のため、意見を出し合う。	「人権問題事象検討連絡会」の報告を受けて、南丹市の事象を知り、一人一人意見を出し合う。	子どもの「人権」を基盤に実践する保育の創造研修を受け、意見交換をする
		出席率	参加者 20人/25人 （80%）	参加者 21人/25人 （84%）	参加者 27人/28人 （96%）	参加者 23人/28人 （82%）
		所属長所感	子どもの人権侵害はなぜ起きるのか、自分たちで気づけないことも研修で気づくことができた。	保護者の考え方や生活の多様性を理解し、子どもの正常な発達をどう保証していくのか話げできた。	自分の市に起きた事象を知り、差別を「しない、させない、許さない」ためには自分の言動を一層改めていく。また、今関わっている子ども達にも差別の芽を作らないことを確認できた。	差別意識は生後6ヵ月から始まり、2歳～9歳が人権感覚の重要期である。保育者の人権感覚が子どもに影響することを自覚し、今後も研修を重ねていく。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
福祉保健部	子育て支援課	実施日時	令和4年 5月30日（月） 13:00～15:00	令和4年 6月14日（火） 14:00～15:00	令和4年 9月12日（月）～20日（火）	令和5年 1月17日（火）～20日（金）
		テーマ・実施方法	子どもの人権を守る保育について、講師から学び、クラスで話し合う。	子どもや保護者についての（多様性の）理解のため、意見を出し合う。	「人権問題事象検討連絡会」の報告を受けて、南丹市の事象を知り、一人一人意見を出し合う。	子どもの「人権」を基盤に実践する保育の創造研修を受け、意見交換をする
		出席率	参加者 20人/25人 （80%）	参加者 21人/25人 （84%）	参加者 27人/28人 （96%）	参加者 23人/28人 （82%）
		所属長所感	子どもの人権侵害はなぜ起きるのか、自分たちで気づけないことも研修で気づくことができた。	保護者の考え方や生活の多様性を理解し、子どもの正常な発達をどう保証していくのか話げできた。	自分の市に起きた事象を知り、差別を「しない、させない、許さない」ためには自分の言動を一層改めていく。また、今関わっている子ども達にも差別の芽を作らないことを確認できた。	差別意識は生後6ヵ月から始まり、2歳～9歳が人権感覚の重要期である。保育者の人権感覚が子どもに影響することを自覚し、今後も研修を重ねていく。

令和4年度南丹市職員人権研修全体テーマ…「多様性の尊重と平和」
～さまざまな違いを超えた共生社会の実現へ～

南丹市職員人権研修実施状況報告書

所 属		研 修 内 容				
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
農 林 商 工 部	農 業 推 進 課	実施日時	令和4年5月24日（火） 17：30～19：00	令和4年7月28日（木） 17:15～19:00	令和4年8月25日（木） 17:15～19:00	令和4年9月28日（木） 17:15～
		テーマ・実施方法	「子ども・貧困」を学ぶ。 NHKスペシャルの「ヤングケアラー SOSなき若者の叫び」視聴と意見交換により研修を実施。	「障がい者・多様性」を学ぶ。 CBCドキュメンタリー番組「居眠りしても…声が出なくても…大丈夫」「働きやすい」バームクーヘン店」を視聴・意見交換	「障がい者・多様性」を学ぶ。 「インクルーシブ教育がcaえるもの」を視聴・意見交換	外国人の人権を学ぶ。NHKスペシャル「夢見た国で～技能実習生が見たニッポン」
		出席率	参加者 10人/11人 (91%)	参加者 11人/11人 (100%)	参加者 11人/11人 (100%)	参加者 11人/11人 (100%)
		所属長所感	小学生が観介護で運動会や修学旅行に行けない、進学や就職もできず、30年以上介護に関わった現実があり、行政も縦割りで把握しきれていない状況、ヤングケアラーという言葉も知れ渡っていないこともあり、子供の人権を含めて、繋がりや居場所などの大切さを学ぶことができた。	店舗の会社経営をしている社用は発達障がい者であり、小さい時からコミュニケーションが取れず、職も転々としていたが、IT職に付いてから変化して、会社を起業された。誰も障がいがあるなし関係なく、ここにいれば友達になれる、居場所があるとの基本方針で運営されており、誰もが平等に働けることの大切さを痛感した	インクルーシブ教育はシステムが確立されているとは言えず、まだまだ課題が多い中で、多様性を受け入れられる環境やお互いの理解が大切であると感じた。	高齢化による人材不足で、特に中小企業に海外から技能実習生が来ており、法律の抜け穴をいかくぐり、非常に過酷な労働環境で安い賃金であり、国の機関も縦割りであり、知られざる実態に日本が世界において、悪く見られようの一因であり、早急に法整備の見直しを含めて、人権のことを考慮すべき課題であると思う。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
農 林 商 工 部	農 山 村 振 興 課	実施日時	令和4年6月28日（火） 17:20～18：15	令和4年8月23日（火） 17:20～18：15	令和4年10月27日（木） 17:20～18：20	令和4年12月22日（木） 17:20～18：20
		テーマ・実施方法	部落差別の歴史に関するDVDを視聴し、内容について意見交換	ハラスメントに関するDVDを視聴し、内容について意見交換	障がい者の人権に関するDVDを視聴し、内容について意見交換を行った	職場に関する人権問題のDVDを視聴し、内容について意見交換を行った。
		出席率	参加者 6人/6人 (100%)	参加者 4人/6人 (67%)	参加者 5人/6人 (83%)	参加者 5人/6人 (84%)
		所属長所感	部落差別が作られた背景、幕府が被差別部落の方々とその他の方との交流も禁じた等、改めて過去の過ちについて学び、再認識することができた。	いろいろなハラスメントの発生には、被害者の立場や気持ちになって考えることが重要であり、加害者の一方的な感覚は改める必要があると感じた。	障がい者は不便だ、かわいそうという、健常者を基準にし判断されるように思うが、実はそうではなく、障がい者一人ひとりが基準を持ち、生き生きと前向きに生活されていると感じた。	職場でも、少しの心遣いで互いの気持ちや思いが通じたり、いやな思いをすることがなくなる。他人のことを思って行動することが重要だと再認識した。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
農 林 商 工 部	商 工 課	実施日時	令和4年6月29日（水） 17：20～18：05	令和4年10月26日（木） 18：00～18：45	令和5年1月19日（水） 17：30～18：15	令和5年2月16日（木） 17：30～18：15
		テーマ・実施方法	職場の人権についてDVD（職場の人権）多様性入門を視聴の上、意見交換を行った。	ハラスメント全般について（セクハラ・マタハラ・パワハラ等）	情報化時代の人権について（インターネットと人権）	LGBTについて（LGBTについて）
		出席率	参加者 4人/4人 (100%)	参加者 4人/4人 (100%)	参加者 4人/4人 (100%)	参加者 4人/4人 (100%)
		所属長所感	人権に関する多様性は、外国人・障害者・高齢者などの価値の多様性、コミュニケーションにおける手段（直接会って会話する、メール、手話等）等多岐にわたり、さまざまな違いを尊重し、活かすことが大切であることが再認識できた。	ハラスメントを防止するには、双方向のコミュニケーションがとても大切であること、また、自分にも思い込みや偏見があるかもしれないと自覚することはとても重要であると、このDVDを見て再認識することができた。	インターネットは便利な存在であるが、使い方を誤ったり悪意が無くても「凶器」になりえる。このDVDを視聴しながら、人権を尊重するということは、相手の立場に立って考えること、相手への思いやりの大切さを再認識しました。	多様性を認め合う、相手の気持ちになって考えてみる。人権問題のすべてに当てはまることだと改めて感じた。

令和4年度南丹市職員人権研修全体テーマ…「多様性の尊重と平和」
～さまざまな違いを超えた共生社会の実現へ～

南丹市職員人権研修実施状況報告書

所 属		研 修 内 容				
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
農 林 商 工 部	親 光 交 流 室	実施日時	令和4年6月29日(水) 17:20～18:05	令和4年10月26日(木) 18:00～18:45	令和5年1月19日(水) 17:30～18:15	令和5年2月16日(木) 17:30～18:16
		テーマ・ 実施方法	職場の人権について DVD(職場の人権)多様性 入門を視聴の上、意見交換 を行った。	ハラスメント全般について (セクハラ・マタハラ・パ ワハラ等)	情報化時代の人権について (インターネットと人権)	LGBTについて (LGBTについ て)
		出席率	参加者 4人/4人 (100%)	参加者 4人/4人 (100%)	参加者 3人/4人 (75%)	参加者 3人/4人 (76%)
		所属長 所感	商工課と合同で実施。DVDでは人権 に関する多様性の尊重について描か れていた。集団が多様な個人を受け 入れるというより、すべての個人 (自分)はそれぞれの個性を持ち、 その違いを認め活かすということが重 要であることを学んだ。	コミュニケーションを大切にすること が、ハラスメントの防止につながるこ とが今回のDVDでよく理解できました。身の 回りでも仕事のしにくさはコミュニケー ションの不足が原因であったりします。 ハラスメントのない、ここのいい環境 で仕事をするためには日常のコミュニ ケーションを大事にすることを心がけたい と思います。	インターネットがくらしを豊 かにする反面、危険にもさら されていることを考えさせら れました。	人の多様性を認め合うという ことに尽きると 생각합니다。常に 幅広い心を持って人に接し なければならぬと改めて学 びました。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
	農 業 委 員 会 事 務 局	実施日時	令和4年6月8日(水) 17:30～18:30	令和4年9月14日(水) 17:30～18:30	令和4年12月6日(火) 17:30～18:30	令和5年3月9日(木) 17:30～18:30
		テーマ・ 実施方法	啓発用DVD「今そこにいる 人」としっかり出会う」視聴 後意見交換	啓発用DVD「お互いの本当 が伝わる時～障害者～」視 聴後意見交換	啓発用DVD「ここから歩き 始める(認知症を共に生き る)」視聴後意見交換	啓発用DVD「夕焼け ケア ラー誰もが人権尊重される 社会を」視聴後意見交換
		出席率	参加者 4人/4人 (100%)	参加者 4人/4人 (100%)	参加者 2人/4人 (50%)	参加者 4人/4人 (100%)
		所属長 所感	今回は同和問題について研修を 深めた。生まれた場所や住んで いる場所だけで偏見をもたれ差 別されるという理不尽な差別が 未だに残っている現実を認識 し、あらゆる差別について学習 する機会が重要であることを再 認識した。	今回は障害者差別について研 修を深めた。改正障害者雇用 促進法、障害者差別解消法が 施行され、障害のあるなしに 関わらず皆で共生していくた めにはどうすればいいのかを 考える良い機会となった。	今回は認知症をテーマに研修を 行った。少子高齢化社会の中で認知症高 齢者が人として誇りを持って生 きていくには家族や地域社会の 理解が大切であり、これから誰 もが避けて通れない問題だと感 じた。	今回はケアラーをテーマに研修を 行った。特にヤングケアラーは学校 に友人と交流を通じて成長する 重要な時期にも拘わらず、その状況 が周囲から見過されることが多い という問題の解決には人となりが つながり気にかけることが大切だと感じた。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
土 木 建 築 部	都 市 計 画 課	実施日時	令和4年5月25日(水) 17:30～18:30	令和4年8月31日(水) 17:25～18:00	令和4年11月24日(木) 17:25～18:00	令和5年2月8日(水) 17:25～18:10
		テーマ・ 実施方法	新型コロナウイルス感染症 がまん延する中、感染者や 医療従事者への差別、偏見 等に対し当事者意識を持つ て考えるビデオ視聴と意見 交換	部全体研修として実施 DVD「多様性入門」視聴と 意見交換	DVD「違いを力にするため に」視聴と意見交換	DVD「今そこにいる人と、 しっかり出会う-同和問題- 」
		出席率	参加者 10人/10人 (100%)	参加者 7人/10人 (70%)	参加者 9人/10人 (90%)	参加者 9人/10人 (90%)
		所属長 所感	コロナ差別に対してひとり りが当事者として向き合い、 ウィルスに対して正しい知識 と社会生活に対して真摯に向 き合うことが研修できた	職場や生活の中で気づかされ る非常に良い視聴であり、職 場環境の再点検や人とのか わりについて、十分な研修が できた。	職場のコミュニケーションを より高め、職場内の相互理解 が人材を活かすことであり、 多様性を認め合うことにな ることが研修できる良い機会 であった。	様々な差別がある中でも同和 問題は行政責務として解決し なければならない問題であ り、そのため理解を深め、人 の思いを理解することの重要 性を理解することができた。

令和4年度南丹市職員人権研修全体テーマ・・・「多様性の尊重と平和」
～さまざまな違いを超えた共生社会の実現へ～

南丹市職員人権研修実施状況報告書

所 属		研 修 内 容				
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
土木建築部	道路河川課	実施日時	令和4年6月29日(水) 17:30～18:30	令和4年8月31日(水) 17:30～18:30	令和4年12月22日(木) 17:30～18:30	令和5年3月2日(木) 17:30～18:15
		テーマ・実施方法	「人権の歴史」について学ぶDVD視聴	「多様性入門」DVDを視聴 意見交換	「外国人と人権」DVDを視聴 意見交換	「今そこのいる人としっかり出会う」DVDを視聴 意見交換
		出席率	参加者 11人/12人 (92%)	参加者 9人/12人 (75%)	参加者 10人/12人 (83%)	参加者 11人/12人 (92%)
		所属長所感	水平社創立の背景や、創立大会の様子、そこに参加した人々の想いをDVD視聴にて学習し「差別」や「いじめ」を根絶することについて意見交換をし、職員の人権意識を高めることができた。	人と人とのあらゆる違いを理解し、認め合うことで誰もがいきいきと働ける職場環境の実現に繋がることについて意見交換をすることで職員の人権意識を高めることができた。	外国人と関わる機会が増えていく中、差別のない多文化共生社会を実現するため、互いの個性や違いを認め合い地域活動等への参入を積極的に受け入れていくことの大切さを学ぶことで職員の人権意識を高めることができた。	同和問題について他人事ではなく一人一人が自分の問題として受けとめ理解を深めていくことと地域社会全体で差別や間違った考え方をなくす取り組みをしていかなければならないということについて意見交換をし、職員の人権意識を高めることができた。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
土木建築部	営繕課	実施日時	令和4年6月10日 午後12時20～	令和4年8月31日 午後5時30～	令和4年12月13日 午後5時30～	令和5年2月24日 午後5時20分～
		テーマ・実施方法	「人権の歴史」について学ぶDVD鑑賞	「多様性入門」についてDVD鑑賞	「障がい者の人権」についてDVD鑑賞	「LGBT」をテーマとし学ぶ
		出席率	参加者 6人/8人 (75%)	参加者 6人/8人 (75%)	参加者 8人/8人 (100%)	参加者 8人/8人 (86%)
		所属長所感	水平社の設立に関する歴史や、関係者の思いが理解できた。	多様性の意味が理解でき、それぞれを認め合う事の重要性が理解できた。	障害の有る方への接し方が理解でき、相手の気持ちを理解する事の重要性が理解できた。	様々な感情を抱く人の理解が深められた。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
上下水道部	営繕総務課	実施日時	令和4年7月21日(木) 17:15～18:15	令和4年9月15日(木) 17:15～18:15	令和4年11月17日(木) 17:15～18:15	令和5年1月19日(木) 17:15～18:15
		テーマ・実施方法	・差別事象への対応～要領の確認 ・人権意識を高める研修～DVD鑑賞「多様性入門」	・発生した人権問題事象の説明と対応の確認 ・DVD鑑賞「話せてよかった」	・差別事象への対応～要領の確認 ・人権意識を高める研修～DVD鑑賞「私たち一人ひとりができること」	令和4年度南丹市職員全休人権研修(動画A視聴) 「外国人と人権 ～違いを認め、共に生きる～」
		出席率	参加者 10人/10人 (100%)	参加者 10人/10人 (100%)	参加者 9人/10人 (90%)	参加者 9人/10人 (90%)
		所属長所感	思い込みによるものではなく、一人ひとりの人格や個性を認め合うことの大切さを痛感した。	身近な生活の中でも相手の人権を尊重できていない事があることを気づかされる研修となった。	他人事でなく、自分に置き換えて考えることで、人に対して思いやりをもった対応ができることを理解した。	「外国人」というだけで様々な思い込みをし色眼鏡で見えてしまう。違っても当たり前ということを認識し合うことが大切。

令和4年度南丹市職員人権研修全体テーマ・・・「多様性の尊重と平和」
～さまざまな違いを超えた共生社会の実現へ～

南丹市職員人権研修実施状況報告書

所 属		研 修 内 容				
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
上 下 水 道 部	上	実施日時	令和4年7月21日(木) 17:15～18:15	令和4年9月15日(木) 17:15～18:15	令和4年11月17日(木) 17:15～18:15	令和5年1月19日(木) 17:15～18:15
	水	テーマ・ 実施方法	・差別事象への対応～要領 の確認 ・人権意識を高める研修～ DVD鑑賞「多様性入門」	・発生した人権問題事象の 説明と対応の確認 ・DVD鑑賞「話せてよかった」	・差別事象への対応～要領 の確認 ・人権意識を高める研修～ DVD鑑賞「私たち一人ひと りができること」	令和4年度南丹市職員全体 人権研修(動画A視聴) 「外国人と人権 ～違いを 認め、共に生きる～」
	道	出席率	参加者 8人/11人 (72%)	参加者 7人/11人 (72%)	参加者 11人/11人 (100%)	参加者 9人/11人 (72%)
	課	所属長 所感	一人ひとり個性があり、それ を尊重し認め合い、それを生 かした職場づくりを行うこと が大切だと認識できた。	家族の中での普通、思い込み をなくし、お互い理解のある コミュニケーションを取るこ とが大切だと認識した。	誰にでも可能性があるウイル ス感染について、他人事では なく考えることが大切で、感 染者に対しては思いやりのあ る行動が大切。	外国人に対する偏見や差別を なくすためには、お互いの生 活習慣等を理解し、尊重しあ うことが大切。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
上 下 水 道 部	下	実施日時	令和4年7月21日(木) 17:15～18:15	令和4年9月15日(木) 17:15～18:15	令和4年11月17日(木) 17:15～18:15	令和5年1月19日(木) 17:15～18:15
	水	テーマ・ 実施方法	・人権問題事象処理要領の 確認 ・DVD鑑賞「多様性入門」	・発生した人権問題事象の 説明と対応の確認 ・DVD鑑賞「話せてよかった」	・DVD鑑賞「私たち一人ひと りができること」 ・コロナ差別との向き合い かた研修	動画視聴「外国人と人権 ～違いを認め、共に生きる ～」
	道	出席率	参加者 5人/5人 (100%)	参加者 5人/5人 (100%)	参加者 5人/5人 (100%)	参加者 5人/5人 (100%)
	課	所属長 所感	各個人がそれぞれ個性を持 ち、それぞれが多様な人であ り尊重することの大切さを再 認識できた研修となった。	身近な生活の中でも相手の人 権を尊重できていない事がある ことを気づかされる研修と なった。	過去のハンセン病差別も含め、 思いやりのある対応が必要 であることを再認識。	外国人と日本人ということでは なく人間としてお互いの文化 を理解する中でコミュニケー ションを図る大切さを認識 した。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
	出	実施日時	令和4年6月29日(水) 17:30～18:30	令和4年10月12日(水) 17:30～18:30	令和4年11月16日(水) 17:30～18:30	令和5年3月15日(水) 17:30～18:15
	納	テーマ・ 実施方法	南丹市の人権事象について 「インターネットと人権」 DVD視聴	「コール&レスポンスーハ ラスメント」のDVD視聴 と意見交換	わからないから、確かめ合 うーコミュニケーションー DVD視聴と意見交換	「家庭からふりかえる人権 話せてよかった」のDVD視 聴と意見交換
		出席率	参加者 3人/4人 (75%)	参加者 3人/4人 (75%)	参加者 2人/4人 (50%)	参加者 3人/4人 (75%)
	課	所属長 所感	インターネットでは、誹謗中傷 をはじめ人権侵害を引き起こ して。大人だけでなく子ども にも十分説明をして利用する ことが重要であることを再 認識した。	職場における様々なハラスメ ントや職場内のコミュニケー ションの大切さを再確認し た。	思い込みや偏見により相手を 傷つけてしまうことがあるが コミュニケーションを取るこ とで分かり合える事の大切さ を再確認した。	お互いに話をしわかりあうこ との大切さを再認識した。今 後も研修を継続して行い人権 意識の高揚を図っていき たい。

令和4年度南丹市職員人権研修全体テーマ・・・「多様性の尊重と平和」
～さまざまな違いを超えた共生社会の実現へ～

南丹市職員人権研修実施状況報告書

所 属		研 修 内 容				
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
	議 会 事 務 局	実施日時	令和4年6月24日（金） 13:30～14:30	令和4年10月5日（水） 17:30～18:00	令和4年11月30日（水） 17:20～18:00	令和5年3月29日（水） 14:00～15:00
		テーマ・ 実施方法	「今そこにいる人と、しっかりと 会おう～同和問題について～」 人権政策課長講演、DVD鑑賞 【議会議員人権研修】	「多様性入門」 DVD視聴と意見交換	「外国人と人権 違いを認め、 共に生きる」 DVD視聴と意見交換	「ハラスメントに関するこ と」小西千里氏（社会保険 労務士）講演 【議会議員研修】
		出席率	事務局4人/4人 (100%) 議会議員20人/20人 (100%)	事務局4人/4人 (100%) 監査事務局2人/2人 (100%)	事務局3人/4人 (75%) 監査事務局2人/2人 (100%)	事務局4人/4人 (100%) 議会議員20人/20人 (100%)
		所属長 所感	3年ぶりに開催した「議会議員 人権研修」に事務局職員も受 研する。部落差別、同和問題 の理解を深められた。	「多様性」について認識を改 めた。今後「多様性」につい て理解を深めたい。	日本に暮らす外国人を通して 「多様性」を確認する。共に 生きるためのヒントを理解す る。	議会におけるハラスメント対策の一 環として実施した研修に事務 局職員も受研する。ハラスメント についての理解を深められた。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
	監 査 委 員 事 務 局	実施日時	令和4年5月26日（木） 17:15～18:00	令和4年8月9日（火） 17:30～18:00	令和4年10月5日（水） 17:30～18:00	令和4年11月30日（水） 17:25～18:00
		テーマ・ 実施方法	2021.4月京都府発行 「性の多様性と人権」冊子 及び京都新聞2022.5.25朝 刊記事（取材ノート）によ り研修、意見交換	～当事者意識をもって考 えるコロナ差別～「コロナ差 別」の特徴と関連した差別 や偏見がなぜ生まれるの か、どう向き合っていくの かDVD視聴により学ぶ	～お互いを活かし合うた めの人権シリーズ～「多様性 入門」 DVD視聴により学び気づく	外国人と人権 違いを認め、ともに生きる 外国人に関する人権問題を 解説したDVD視聴
		出席率	監査委員事務局研修 参加者 2人/2人 (100%)	総務部研修 参加者 30人/45人 監査委員事務局 参加者 2人/2人 (100%)	議会事務局・監査委員事務 局合同研修 参加者 6人/6人 監査委員事務局 参加者 2人/2人 (100%)	議会事務局・監査委員事務 局合同研修 参加者 5人/6人 監査委員事務局 参加者 2人/2人 (100%)
		所属長 所感	冊子、新聞記事を基に研修、 意見交換。新たな知識を身に つけ性の多様性を認識した。	コロナ差別、偏見が心のど こかにあったのでは改めて考 えさせられた。「おかえり」 「ただいま」の気持ちを大事 にしたい。	多様性を尊重することによ り、今までになかった考え 方ができたり、違うからこそ 気づきがあり、お互いに活 かし合うことができるという ことを学習できた。	外国人に関する人権問題につ いて研修。見た目、思い込 みでの判断は禁物。通じ合 い異なる文化が共存し皆が豊 かになることが大事である。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
教 育 委 員 会	教 育 総 務 課	実施日時	令和4年9月30日（金） 14:00～16:00 18:30～20:30	令和4年11月18日（金） 14:00～16:00 18:30～20:30	令和5年1月24日（火） 10:00～11:00 11:00～12:00 13:30～14:30 14:30～15:30	令和5年2月21日（火） 9:30～10:30 10:30～11:30 13:30～14:30
		テーマ・ 実施方法	人権教育講座映画鑑賞「あ ん」	なんたんヒューマンシネマ 「朝が来る」鑑賞	教育委員会合同研修 DVD「水平社を立ち上げた 人々」視聴	教育委員会合同研修 DVD「部落解放運動の歩 み」視聴
		出席率	参加者 3人/4人 (75%)	参加者 4人/4人 (100%)	参加者 4人/4人 (100%)	参加者 3人/4人 (75%)
		所属長 所感	ハンセン病がテーマの映画 で、治癒後感染しないにもか かわらず差別されることを知 り、正しい知識を持つこと と、差別を指摘できることの 重要性を学んだ	特別養子縁組制度について知 り、産みの親と子どもの命を 守り、子どもに出自をどう伝 えるか、大事に育てることの 大切さを学んだ。	水平社創立100年が経過した が、それを立ち上げてきた人 たちの思いと、いまだ残る差 別について改めて考える機会 となった。	水平社立ち上げからの人々の 運動から、戦後の同和对策審 議会答申を経て現在に至る が、今なお残る差別を解消す るため、正しく学び伝えるこ とが必要。

令和4年度南丹市職員人権研修全体テーマ・・・「多様性の尊重と平和」
～さまざまな違いを超えた共生社会の実現へ～

南丹市職員人権研修実施状況報告書

所 属		研 修 内 容				
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
教 育 委 員 会	学 校 教 育 課	実施日時	令和4年9月2日～9月30日	令和4年11月15日（火） 11：00～11：30	令和5年1月24日（火） 10：00～15：00（30分）	令和5年2月21日（火） 10：30～14：00（40分）
		テーマ・実施方法	「差別をなくす」から「手をつなぐ」へ ・岡本工介氏講演動画視聴 ・アンケート実施	コロナ差別 「私たち一人ひとりができること」DVD視聴	DVD視聴「水平社を立ち上げた人々」、感想文提出	DVD視聴「部落解放運動の歩み」、感想文提出
		出席率	参加者 12/14人 (86%) * 短時間勤務者含む	参加者 14/14 (100%) * 短時間勤務者含む	参加者 13/14 (92%) * 短時間勤務者含む	参加者 14/14 (100%) * 短時間勤務者含む
		所属長所感	負の連鎖を生まないために子ども達に自立できる力を身に付けさせること、同和対策事業で取り組んだ中から地域づくりに活用できることが多いことを再認識できた。	見に見えない恐怖や不安から、正しい知識を持たないと誰もが差別に加担する可能性があることを改めて認識することができた。	100年前に立ち上がった青年達の熱意と行動が伝わってきた。差別は差別している側に問題があり、差別する側こそが変わらなければならない。	水平社の創設、部落解放運動の歴史を振り返り、社会生活の中では差別がいまだにない現状を改めて認識した。継続した人権学習の必要性を感じる。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
教 育 委 員 会	園 部 幼 稚 園	実施日時	令和4年7月21日（木）	令和4年8月19日（金）	令和4年9月1日（木）	令和4年11月3日（土）
		テーマ・実施方法	・幼児の生活実態を知る生活実態アンケートを実施し、結果から課題を見つけ、改善点を考えた後、職員間で共有する。	・幼児の人権教育について人権教育をテーマにしたレポートの作成及び南丹・船井人権研修会に参加する。	・逆転の発想（リフレーミング）でよいところを見つけよう 参加型のワークショップを行い、職員間で意見交流をし人権意識の向上を図る。	・子どもの人権を保障する京都府人権解放保育研究集会に参加する（現地参加1名、他 動画視聴）
		出席率	参加者 13人/13人 (100%)	参加者 6人/6人 (100%)	参加者 14人/17人 (約82%)	参加者 6人/6人 (100%)
		所属長所感	アンケートの分析をすることで、今年の傾向を知ることができ、保護者に発信していくべきことなどを職員で共有することができた。	講演や他校のレポート報告を聴き、職員の人権感覚を磨く機会となった。	短所と見えることも発想を転換することで長所として捉えることができる。ワークショップを通して、職員間のいろいろな考えに触れることができ、人権意識の向上につながった。	現地での研修に参加したり、後日動画を通して職員で学び合うことができた。他園の取り組みを通し、人権の視点に立って保育を見直す機会となった。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
教 育 委 員 会	社 会 教 育 課	実施日時	令和4年8月4日（木） 18:15～19:20	令和4年10月27日（木） 18:15～19:30	令和4年12月22日（木） 18:15～19:30	令和5年1月24日（火） 10:00～15:00（全4回）
		テーマ・実施方法	DVD視聴、意見交流（人権協の推進委員研修会時での模擬研修）	南丹市で起こった差別事象を考える	個人情報保護について考える	DVD視聴「水平社を立ち上げた人々」
		出席率	参加者 10人/13人 (77%)	参加者 7人/13人 (53%)	参加者 8人/13人 (61%)	参加者 13人/13人 (100%)
		所属長所感	話ことで相手を知ることができたと改めて感じる事ができた。	過去の事例を検証し、実際あった時の発言や対応を確認することができた。	個人情報について改めて考える良い機会となった。	水平社を立ち上げることになった経過を知ること、見えなかった思いを知ることができた。

令和4年度南丹市職員人権研修全体テーマ・・・「多様性の尊重と平和」
～さまざまな違いを超えた共生社会の実現へ～

南丹市職員人権研修実施状況報告書

所 属		研 修 内 容				
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
教 育 委 員 会	日 吉 学 校 給 食 共 同 調 理 場	実施日時	令和4年7月19日(火) 15:15～16:15	令和4年8月30日(火) 10:00～11:00	令和4年12月23日(金) 9:10～9:50	令和5年3月20日(月) 15:30～16:30
		テーマ・ 実施方法	「私たち一人ひとりができること」を視聴し、内容について職員で意見交換 2 1-4	「多様性入門」を視聴し、内容について職員で意見交換 2 1-1	「あした咲く」を視聴し、内容について職員で意見交換 1 9-3	「自尊心のコミュニケーションと職場の人権1」を視聴し、内容について職員で意見交換 1 4-3
		出席率	参加者 10人/11人 (91%)	参加者 10人/11人 (91%)	参加者 8人/11人 (73%)	参加者 7人/11人 (64%)
		所属長 所感	コロナ差別の特徴と、なぜ差別や偏見が生まれるのか、どのように対応をすれば良いのかを認識出来た。また、職場内での対応も再確認することが出来た。	私たちは人との関わり方も多種多様、一人ひとりの人格や個性を大切にすること、思いやりをもって接することの大切さを考える良い機会になった。	多様性尊重社会の現在、人との付き合いを通して、それぞれの立場や価値観の違い、また、自身の生き方の実現を考えるきっかけとなった。	職場内でのコミュニケーション不足がハラスメントにつながっていく、どうすれば働きやすい職場環境を作れるのか、それぞれの考え方を聞き一歩踏み出す機会となった。
部等	課等		第1回	第2回	第3回	第4回
教 育 委 員 会	美 山 学 校 給 食 共 同 調 理 場	実施日時	令和4年7月19日(火) 15:00～15:45	令和4年8月30日(火) 15:30～16:10	令和4年12月22日(木) 13:00～13:30	令和5年3月27日(月) 8:00～9:15
		テーマ・ 実施方法	「多様性入門」DVDを視聴後、意見交換を実施	「なぜ企業に人権啓発が必要なのか」DVDを視聴後、意見交換を実施	シリーズ映像で見る人権の歴史「近代医学の基礎を築いた人々」DVDを視聴後、意見交換を実施	「水平社を立ち上げた人々」DVDを視聴後、意見交換を実施
		出席率	参加者 9人/10人 (90%)	参加者 9人/10人 (90%)	参加者 9人/10人 (90%)	参加者 9人/10人 (90%)
		所属長 所感	職場は多様な個性、価値観を持った人間の集団であることから、互いに認め合い理解し合うことにより、個々を生かせる職場環境が生まれることを再認識しました。	企業が果たす社会的責任の一つに人権尊重があり、我々の職場でも同じことが言えます。21世紀は人権の世紀とも言われ、人権を守り育てることは国民ともに事業所の責務であることを全員で確認しました。	杉田玄白による解体新書はあまりにも有名ですが、実際に解剖作業に携わったのは差別を受けている人々であり、近代医学の礎にはこのような悲しい歴史があることを再認識しました。	水平社立ち上げの経過と青年たちの思いを知ることができた。 差別のない社会を目指し人権について思いを新たにしました。

令和4年度南丹市職員人権研修全体テーマ…「多様性の尊重と平和」
～さまざまな違いを超えた共生社会の実現へ～